

五月廿六日。足利義持、山城南禪寺に、能美郡南社御供田等を安堵せしむ。

【南禪寺文書】 山城 七八八

南禪寺領加賀國府南社御供田、備中國三成庄内公文・田所兩職并休咩寺分等事、任當知行寺家領掌不可有相違之狀如件。

應永廿八年五月廿六日
從一位源朝臣(足利義持) 在判

六月十一日。加賀守護富樫滿春、幕府祈願所石川郡祇陀寺の諸役を免除す。

【祇陀寺文書】 七八九

加賀國河内庄祇陀寺領所々事、爲御祈願所上者、諸公事等所令免許也。仍狀如件。

應永廿八年六月十一日 富樫介滿春 在判
祇陀寺

九月三日。池田掃部入道善性、鳳至郡來迎寺の

多門坊に、穴水郷宇留地の下地を交付す。

【來迎寺文書】 鳳至郡 七九〇

穴水郷内うる地山崎分院主分事

右彼下地自公方多門坊被請取候間、代管方より渡申候事實也。但寺役等之事、無懈怠可有勤行候者也。仍爲後日渡狀如件。

應永廿八年九月三日 池田掃部入道 善性 在判

(公方は能登守護畠山氏をいふものゝ如く、多門坊は鳳至郡穴水來迎寺中なるべし。)

十二月廿九日。能登守護畠山滿慶、天野慶景に、羽咋郡邑智莊中山を知行せしむ。

【天野文書】 七九一

能登國羽咋郡邑智莊之内中山三宅八郎右衛門尉跡事、依有由續所宛行天野彦次郎慶景之狀如件。

應永廿八年十二月廿九日 沙彌 在判

【天野文書】 七九二

能登國羽咋郡邑智莊之内中山三宅八郎右衛門尉跡事、依有由續雖返付山下七郎右衛門入道仁、入置借物上者、年紀以後可令知行者也。謹言。

十二月廿九日 道 祐 在判

天野彦次郎殿

【天野文書】 七九三

能登國羽咋郡邑智莊内中山三宅八郎右衛門尉跡事、依有由續被宛行天野彦次郎慶景者也。任今月廿九日御書下之旨、可沙汰付下地お、狀如件。

應永廿八年十二月廿九日 祐 信 在判
池田主計入道殿

應永廿九年 壬寅 紀元二〇八一

三月十六日。貞盛、石川郡白山宮に、上林郷内の田地を賣渡す。

【白山比咩神社文書】 石川郡 七九四

賣渡 上林郷白山莊嚴講免田事

合貳拾五代者

右件田地者、貞盛相傳當知行無(相違)處也。然而依有要用代錢肆貫文仁(租)副本文書永代令沽却者也。若於下地致違亂輩候者、爲衆中任支證可有御知行候。仍爲後券之狀如件。

應永廿九年三月十六日 貞 盛 在判

應永三十年 癸卯 紀元二〇八三

三月十五日。某、珠洲郡馬縹本光寺に、田地三段七を宛行ふ。

【本光寺文書】 珠洲郡 七九五
宛行田地事

合三段七者 但此内壹段壹免ニ立 貳段六分也つほ付五所也
右馬縹國長名之内としにて所宛行也。年貢段別無懈怠可致執沙汰狀如件。